

山鹿市民医療センター広報紙



第23号

2012.12.1

発行所 山鹿市民医療センター TEL 0968-44-2185 (代) FAX 0968-44-2420

患者様の権利と責務

- ①すべての人は平等に必要な最善の医療を受ける権利があります。
- ②病気についてわかりやすく説明を受ける権利と、それらを受けるかどうか選択する権利があります。
- ③検査や治療に関する説明を受ける権利と、それらを受けるかどうか選択する権利があります。
- ④カルテの内容を知る権利があります。
- ⑤プライバシーを尊重される権利があります。
- ⑥患者様は病院の規則を守る責務があります。



「ポインセチア」

「第3回 山鹿市健康まつり」を開催しました。

秋晴れの天候にも恵まれ、家族連れなど市民の皆様だけでなく、ご入院中の患者さまも合わせて約300人の方々にお越し頂き、大盛況のうちに終了することができました。

ステージイベントには山鹿市民合唱団をはじめ、山鹿中学校吹奏楽部の生徒さんなど市民の皆様方に多数ご参加頂き、素晴らしい演技に拍手が起きました。また、院内には各種相談コーナーや体験コーナーを設け、ご自身の健康について少しでも関心を持っていただく機会を設けることができました。また地域のみなさまに健康まつりを楽しんでもらうとともに、病院や医療のことを知ってもらう良い機会となりました。

ご来場の皆様にアンケートを取らせて頂いたところ「来年も是非実施してほしい」と多数の声を頂くことができ、大変嬉しく思っております。また、ご協力いただきました関係諸団体の皆様には、心より深く感謝申し上げます。

山鹿市健康まつり実行委員（医事課） 水田 愛



基本理念

いのち
地域住民の命と健康への貢献

基本方針 山鹿市民医療センターは

- ①患者さま中心の信頼される医療を行います
- ②診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④研修、研鑽に務め医療レベルの向上を図ります
- ⑤健全経営に務めます

CONTENTS

「第3回 山鹿市健康まつり」を開催しました	… P1
災害拠点病院における役割	… P2
病気についてのミニ講座	… P2
当院で100人目の赤ちゃん誕生	… P3
外来担当医表(12月)	… P4
特殊・専門外来(12月)	… P4
各専門職の立場から	… P4

災害拠点病院における役割～災害救護訓練「大規模交通災害発生」～

11月14日、山鹿市内の国道で観光バスと大型トレーラーの衝突事故が発生し、周囲の車両や歩行者を巻き込むという想定で訓練が行われました。

多数の負傷者の受け入れ要請があり、当センターでは対策本部設置後、日常の業務中の職員が招集されました。担当者は短時間で臨時救護所を設置し、医療資機材の準備などを行い、次々に救急車で運ばれてくる模擬負傷者に対して処置を行いました。

まず、トリアージ班による重症度別区分が行われ、搬送班が負傷程度によって重症・中等症・軽症の治療エリアへ移送、そして各治療班が模擬治療を実施するなど、さまざまな救護活動が展開されました。

今回の訓練では、短時間のうちに23名の負傷者を受け入れて応急処置をすることができました。今後は、災害発生時に迅速かつ的確に医療活動および救急救護活動ができるよう、日頃の訓練を積み重ねる必要性を痛感しました。

DMAT隊員（外来看護師） 佛田 和子



病気についてのミニ講座

インフルエンザ

予防はワクチン：治療は48時間以内に

世界的に新型インフルエンザが流行した際、日本は死亡率を最低限に抑えることができました。それはインフルエンザウィルスが体内で増えるのを抑える抗インフルエンザ薬による治療が、ほぼ完璧に行われたことによるもので世界から高く評価されています。治療は**48時間以内**に開始することが大切ですので、突然の高熱など、インフルエンザかもしれないと思ったら早めにかかりつけの医師を受診しましょう。

インフルエンザの予防にはワクチンを接種しましょう。乳幼児や65歳以上の高齢者と、糖尿病、心臓病、喘息などの慢性疾患のある人は、流行前の11月末頃までに接種するのが理想的です。また健康な大人や学生もできるだけワクチンを受けましょう。本人の予防だけでなく、インフルエンザ患者が減ることで、間接的に乳幼児や高齢者などリスクの高い人たちをインフルエンザから守ることになります。

日医ニュースNo374より引用



ボランティアさんからのメッセージ

今回は、現在緩和病棟のボランティア活動をしていただいている松本暁子さんからのメッセージです。

「9月末から毎週金曜日の午後、緩和ケア病棟でボランティア活動をさせていただいています松本です。患者様にはほんの少しの瞬間でも、ご病気の痛みや不安を忘れていただけるような雰囲気作りと、付き添っておられるご家族や友人の皆様にも静かに寄り添ってさしあげることができたらと思っています。花の手入れ、お声かけ、お話し相手、お散歩の同伴、喫茶コーナー、病室に必要な小物作り等をおこなっています。わずかな時間だけでも一緒に活動してくださる方がおられたら感謝です。」



喫茶コーナーの松本さん

当院で100人目の赤ちゃん誕生



古田一豊、ロレリー様ご夫妻の第1子
かずみ
一二三ちゃん



100人目誕生お祝いセレモニーとして11月6日9時より、当センター産婦人科病棟において中嶋市長を迎えて、院長、副院長より花束と記念品の贈呈を致しました。お喜びのご家族と赤ちゃん（一二三ちゃん）を囲んで、これからの健やかな成長を出席した職員全員で祈念致しました。



副院長
福島 泰斗 医師

初産で3132g。通常は帝王切開を選択する場合の多い比較挾骨盤でした。41週予定日超過というやや悪条件であったにもかかわらずスタッフと患者さんの息の合った頑張りで自然分娩に成功したという快挙であります。

100例の分娩中、帝王切開率は10例にすぎません。当院が公立であることを考えますとハイリスクであっても自然分娩の流れを重視するモットーは脈々と息づいています。これからも地域周産期センターの重責を担うためますますの研鑽に励みたいと思います。



5階病棟師長
飯田 由美子 助産師

両親学級にはいつもご主人がご一緒でした。マタニティヨガ教室にも楽しく参加されていました。ご家族の愛に囲まれて誕生した一二三（かずみ）くんは、ママ似の可愛いとても元気な男の子です。一二三くんを通して山鹿の地にママ友の輪を広げ、楽しく子育てをしていただきたいと願っています。産婦人科スタッフ一同、いつでもお手伝いいたします。



病院ボランティアを募集しています

皆さまの貴重なお時間を、病院ボランティア活動として活かしてみませんか!!

活動内容

案内ボランティア…受付、診療科への案内
介助ボランティア…身体の不自由な患者さまの介助
園芸ボランティア…病院内の庭木、園芸の手入れなど
絵画ボランティア…絵画の展示等

募集するボランティア

対象者：18歳以上で心身ともに健康な方。

参加条件等：①目的を理解し、積極的に参加していただける方。②無報酬での活動となります。③ボランティア保険に加入していただきます。※保険料は当院が負担いたします。

活動日：月曜～金曜
申込・お問い合わせ先
山鹿市民医療センター 看護部 山田みち代
Tel: 0968-44-2185 (内線733)

外来担当医表

12月

診療科名	月	火	水	木	金
内 科	永野 久俊	※2島貫 栄弥	吉岡 明子	永野 久俊	永野 久俊 ※2島貫 栄弥
循 環 器 内 科	大庭 圭介	大庭 圭介	※1海北 幸一	※1藤末昂一郎(午後)	大庭 圭介
呼 吸 器 内 科 (紹介外来制)	坂田 典史	後藤英介・坂田典史	後藤 英介	坂田 典史	後藤 英介
内 分 泌・代 謾 内 科	吉里 和晃	村田 雄介	村田 雄介	吉里 和晃	村田 雄介
消 化 器 科	※1立山 雅邦	—	—	※1泉 和寛	—
整 形 外 科 (紹介外来制)	高木 茂・工藤智志	工藤智志・立石慶和	手 術(担当医)	高木 茂・立石慶和	手 術(担当医)
外 科	大熊利之・豊永政和	※1村上 敬一	宮村 俊一	池上 克徳	飯田伸一・宮村俊一
泌 尿 器 科	結城 康平	山崎 浩藏	結城 康平	※1谷川 史城	結城 康平
小 児 科	田中 貴俊 8:30~19:00	田中 貴俊 8:30~10:00	田中 貴俊 8:30~17:00	田中 貴俊 8:30~19:00	田中 貴俊 8:30~17:00
セ 感 ン 覚 タ イ 器	耳 鼻 咽 喉 科	—	深見 直美 9:30~11:00 12時診察終了	—	—
	眼 科	上野 重文	上野 重文	上野 重文	上野 重文
産 婦 人 科	福島 泰斗 井上 弘一	福島泰斗・井上弘一 片渕美和子(午後)	福島 泰斗 井上 弘一	福島 泰斗 井上 弘一	福島 泰斗 井上 弘一
総 合 診 療 科	本郷 弘昭	本郷 弘昭	—	—	本郷 弘昭

◎診療時間は、8:30開始で11:00受付終了となります。予約変更の電話は、午後1時から4時までにお願いします。

◎小児科の受付と診療時間は、月・木 午前：11:30迄受付、午後：13:30診療開始18:30迄受付。

火 午前：9:30受付終了。水・金 午前：11:30迄受付、午後：13:30診療開始16:30迄受付。

※1は、熊本大学病院からの派遣医師。※2は、血液内科の診療可。

特殊・専門外来

12月

名 称	担 当 医	実 施 日	診 察 場 所
セカンドオピニオン外来	本郷 弘昭	毎週 月曜、金曜(午前)	外 科
禁 煙 外 来 (予 約 制)	坂田 和子	毎週 月曜(午後)	内 科
睡 眠 時 無 呼 吸 外 来	坂田 和子	毎週 火曜、木曜(午後)	内 科
乳 腺 外 来 (化学療法外来)	※1村上敬一	毎週 火曜	外 科
女 性 外 来 (婦人科、思春期、更年期)	片渕美和子	毎週 火曜(午後)・ 第4木曜(午後)	産婦人科
ス ト ー マ 外 来	担 当 医	毎月 第3水曜(午後)	外 科
P E G 外 来	担 当 医	毎週 水曜(午後)	外 科
緩 和 ケ ア 外 来	坂田 典史	毎週 金曜(14:00~16:00)	内 科
糖 尿 病 外 来	村田 雄介	毎週 木曜(9:00~12:00)	内 科
両親学級(予約制:産婦人科)	助 産 師	第2・3・4日曜 (10:00~12:00)	5階病棟
助産師外来(乳房マッサージ) ※ 予 約 制	助産師: 田中 妙子	月~木曜 (8:30~16:00)	5階病棟

各専門職の立場から

プレストケアチーム シリーズ 第1回

みなさんこんにちは。今回は、プレストケアチームよりお話をさせていただきます。

「プレストケア」という言葉をご存知ですか。「プレスト」は医療用語で胸という意味を持つ言葉で、「プレストケア」とは、乳がんをはじめとして乳房の病気に必要なケアや治療のことをいいます。

日本では、乳がん患者が年々増え続け、女性のがんの中では最も発症率が高くなっています。現在16人に1人が乳がんになるといわれています。このような現状の中で、当院のプレストケアチームは、「患者さまを中心とした乳腺医療で貢献すること」を目的として平成16年に設立されました。医師、看護師(病棟・外来)、薬剤師、作業療法士で構成されています。乳がんの治療は、手術、薬物療法、放射線療法など、患者さまにとって身体的にも精神的にも不安を抱えつつ治療となることが多いと考えられます。そのため治療経過の色々な場面で、チームのスタッフが役割に応じて、患者さまのケアを行っています。

主なチーム活動として、毎年、乳がん患者さまとの「お茶会」を開催しています。なごやかな雰囲気の中で、日頃の悩みや不安、これから楽しむなど何でも話し合える交流の場となっています。また、患者さまだけではなく、地域住民の皆さんに向けての活動も私たちの役割です。早期発見の大切さを知るために、山鹿市健康まつりでは、乳がん触診模型を活用した「しこり」の触診体験、自己検診法や乳がん検診の推進を行っています。当院の乳腺診療は、毎週火曜日の乳腺外来において、一般のがん検診の結果、精密検査が必要な方や乳がんの疑いがある方、乳がん手術後の治療を必要とする方を対象として行われています。

今後も私たちプレストケアチームは、乳がん患者さまやそのご家族が、安心して治療を続けていただけるようお手伝いしていきたいと思っています。ご相談があれば、いつでもお声をかけてください。

プレストケアチーム 担当:看護師 江藤 千鶴

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。

◎セカンドオピニオン外来については、地域医療連携室にお尋ねください。

◎急患の場合は、この限りではありません。

ご注意:学会等の都合で変更になる場合があります。

◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。